



小さな しらせつ

「小さな親切」運動生駒支部情報・第57巻第660号

この人のことは

自然な支援

社会福祉法人 長命荘 理事長 林 昌 弘

先日、当法人の玄関扉の前で、白杖を持っておられた女性が立っておられるのをみかけました。どうも、困っておられるらしい。

施設にお入りになる様子が伺え、「何か、お手伝いしましょうか?」と声を掛けるとともに、その方の右手で私の左肩をつかんでもらい、引き戸を開け、一緒に建物に入り、施設内の職員に引き継いだことがありました。

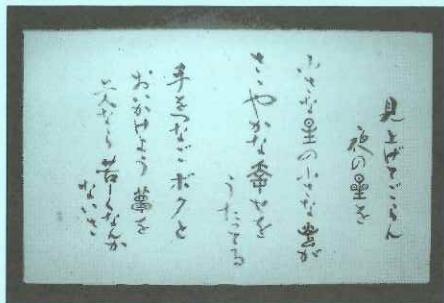
当方の施設敷地内でありましたので、自然に支援の行動ができましたが、別の場所であったなら、サッと自然に支援の行動に移れるか、自信がありません。

1.3人で子どもと高齢者1人を支える少子高齢社会のなか、私自身、高齢者の仲間入りをして数年経ちましたが、心身の健康に留意して当分の間、支えさせていただこうと再認識しているところです。

「小さな親切」10か条の④ 人から「ありがとう」といわれたら、「どういたしまして」といいましょう。

令和6年7月1日
「小さな親切」運動
生駒支部
生駒市北新町11番3号
南都銀行生駒支店内
☎74-1131
☏630-0245
定価 100円

この人の作品



書 「見上げてごらん夜の星を」
井 上 俊 子 (香川県)

第56回（令和6年度）生駒青少年「小さな親切」作文コンクール

◆募集要項

生駒での「小さな親切」運動も、みなさんに支えられながら、半世紀を超える57年にもなります。

「小さな親切」とは、いつでも、どこでも、だれでも、しようと思えばできる「親切」のことです。

「小さな親切」が、人の心をあたたかくし、世の中を明るくするにちがいないと信じ、この運動をつづけています。

「小さな親切」の輪がひろがり、みんながしあわせで住みよいまちになるよう考えたこと、また体験したことなどを作文にしてください。

作文を書くことにより自分自身を見つめなおす機会になればとねがっています。

「何を書くか」を決め、「題」をつけて、読む人に伝わるように文章にまとめましょう。

●作文の内容

①「小さな親切」

- ・わたしがしてよろこばれたこと
- ・わたしがうけてうれしかったこと
- ・わたしがみて感動したこと
- ・わたしができなくて、反省したこと
　　あいさつやおてつだいについて
も考えてみましょう。

※昨年の作文の題

「やさしいえがお」「勇気を出した親切」「言葉でできる親切」「見えない親切に気づく」「ありがとうの輪」「寄り添うことで」など

●応募のきまり

1. 応募できる人

いつもそばに
セレミユーズ。

私たち、期待を超えるおもてなしと感動で、満足度100%を目指す葬儀社です。

セレミユーズ株式会社 (旧 公友社)
■ 0120-421-444



協小
力さ
事務
親切

6.7.1

小学生・中学生・高校生

2. 用紙 400字づめげんこう用
紙3枚まで。

3. 書き方 タテ書きにして右は
しでとじる。書きはじめに作文
の題・学校名・学年・組・なま
え（ふりがな）を書く。

〔お書きいただいた個人情報は
作文コンクール事業活動のため
に利用するもので、本人の許可
なく第三者に提供することはあ
りません。尚、個人情報保護に
ついて、当支部は公益社団法人
「小さな親切」運動本部と同じ
方針で行います。〕

4. とどけ先 各学校の担任の先
生。または、〒630-0245 生駒市
北新町11番3号 南都銀行 生
駒支店宛（問い合わせ TEL・

FAX 0743-73-4665 宮本しげ子)

5. 締切 令和6年9月3日(火)
6. 応募作品はお返しできません
のでご了承ください。

●審 査

教育者・有識者・「小さな親切」
運動関係者にお願いします。

●発 表

11月に発表会をひらきます。入
賞作文は本人の同意に基づき新聞
などに発表します。小・中学生の
最優秀作文は第49回全国「小さな
親切」作文コンクールに推薦します。

●表 彰

小学生低学年（1～4年）の部、
小学生高学年（5・6年）の部、
中学生の部、高校生の部の4部門
に分け、それぞれ下記のとおり
表彰します。

1位 1名 表彰状・レプリカ

(トロフィー)・副賞

2位 2名 表彰状・副賞

3位 3名 表彰状・副賞

佳作 若干名 表彰状・副賞

●応募者全員に参加賞を送ります。

●主 催 「小さな親切」運動
生駒支部

●後 援 生駒市・生駒市教育
委員会・宝山寺

令和5年度「小さな親切」 作文コンクール 入賞者の紹介

中学校の部 2位

お手伝いから考えたこと

生駒中学校 1年

眞志 真奈美

この夏、母が手術のため入院し

ました。退院後も痛みが続いたようで重たいものが持てなかつたりと、苦労していたのでたくさんお手伝いをしました。買い物について、買い物かごを持ったり、濡れた洗濯物を運んだり、高いところのものを取ったりと一つ一つは簡単だけれど、様々なお手伝いをしました。

母は
「手伝ってくれてありがとう。とても助かった。」

と、とても喜んでくれました。
この経験を受けて、私は三つのことを思いました。

一つ目は、家族での支え合いはとても大切だということです。母の手伝いをして、いつも母はこんなに家事をしているのかと驚きました。そして、家事は思ったより体に負担がかかる動きが多かったです。なので一人に任せることなく、家族内で協力しあい、一人一人の負担を減らしていくのが大切だと思いました。

母の体調が良くなっても手伝いを続けたいと思います。

二つ目は、自分は簡単にできることでも相手にできるとは限らないということです。

例えば、自分では、そこまで重くないと思っていた買い物かごでも、母は持つのに苦労したり、大きな声を出すのも辛いと言っていました。このように簡単に私ができることも、できない人や難しい人もいるのだなと思いました。自分を基準にするのではなく、相手をよく見て困っているか判断することが大切だと思いました。

三つ目は、家族内での協力と同じように、社会での協力も大切だということです。周囲を見てみると、できなくて苦労している人もいるかも知れません。もしそんな

地域と企業の発展を支援します

 生駒商工会議所

奈良県生駒市元町1-6-12
TEL 0743(74)3515
FAX 0743(74)9185
URL:<https://ikomacci.jp/>

小さな親切
協力事業所

人を見かけたら、声を掛けて助け
てあげたいと思いました。

もし、困っている人がいたら、
見て見ぬふりをするのではなく
「なにかお手伝いできることはあ
りませんか」

と声をかける人が増えたら、困っ
ている人が減って笑顔が増えるか
もしれません。多くの人が声を掛け
合い助け合うことで、より優し
い社会になるのではないでしょ
うか。

「小さな親切」 実行章のお知らせ

私たちの身近にいる“親切さん”
に感謝し、表彰する活動です。

「小さな親切」運動本部発足以

来続けている基幹的な活動です。

「小さな親切」運動を行った方
(団体・個人)を推薦していただき、
実行章の賞状を贈呈して表彰
するものです。どなたでも推薦す
ることができますし、何度でも受
賞できます。実際に見た行為でな
くてもかまいません。運動本部選
考委員会で受賞者を決定後、毎月
ホームページで受賞者の氏名または
団体名を発表しています。

この活動は親切な行為のモチベー
ションを高めるとともに、思いや
りのネットワークを広げていくこ
とが目的です。そして何よりもみ
んなが他人を見やり、お互いを思
いやるという社会づくりに貢献す
る活動ととらえています。

推薦方法

ステップ1. 親切さんを見つける

あなたが見た・受けた・新聞な
どで読んだ親切さんを推薦してく
ださい。

例えば公園の清掃を続けてくれ
ている人などの清掃・花植えなど
の環境美化活動、雪で動けなくなっ
た車を動かすのを手伝ってくれた
ことなどの事件、事故などの迅速
な対応、老人福祉施設へ慰問活動
を続けている社会奉仕活動、道に
迷っていたところを家まで送って
あげたことなどの困っている人へ
の援助等いろいろとあります。

ステップ2. 推薦文を書く

ホームページ、はがき、封筒、

メールなどでご推薦いただけます。どの場合も、実行者の①住所②氏名③実行内容推薦者の④住所⑤氏名⑥電話番号を明記してください。実行者が中学生以下の場合は、贈呈内容が変わりますのでお書き添えください。

[送付先]

公益社団法人「小さな親切」運動
本部 実行章係
〒101-0061
東京都千代田区三崎町 2-20-4
TEL 03-3263-2866
FAX 03-3263-3838

安心・親切にお送りします

生駒交通株式会社

メールアドレス
suisen1963@kindness.jp
ホームページ
<http://www.kindness.jp/>

ステップ3. 受賞の決定と発表

運動本部選考委員会にて受賞者を決定しホームページに受賞者名を発表します。

ステップ4. 感謝をこめて贈呈

基本的には受賞者へ郵送いたしますが、推薦者より伝達をご希望の場合はご連絡ください。

小さな親切協力事業所

夏の交流会ご案内

とき 8月18日(日)
午後2時～4時
ところ 宝山寺 和光殿
ゲスト 美遊会の皆さん
(代表 西井美佐子さん)

- ・内容 三味線と民謡の集い
- 参加費 1,500円
- 当日会場にて

お誘い合わせのうえ、多数ご参加ください。

常任委員さんは、グループでまとめて、8月8日(木)まで宮本までお申し込み下さい。

(0743-73-4665)

〒630-0201

奈良県生駒市小明町 1835 番地の1
タクシー事業部 TEL 73-3131
観光バス事業部 TEL 73-1313
生駒交通トラベルサービス TEL 73-3232